

科目名		現代社会(Present Society)							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第1学年	機械工学科 電気工学科 物質工学科	履修	2 単位	—	講義	通年 90分/週	60時間		
担 当 教 員		【常勤】 高橋正和							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達 目標レベル	1) 古代や中世と異なる近—現代社会の本質的な特徴を理解できる。 2) 心理学の基礎的事項、また家族・結婚の持つ意義をとらえることができる。 3) 世界の諸地域に展開する文化や歴史、地理の特徴を把握できる。 4) 現代文明の直面する諸問題を認識できる。 5) 人文—社会科学一般の基本的な考えやセンスを身につけることができる。 6) 社会人として必要な基本的知識や素養を学ぶことができる。								
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(2)					
関 連 科 目 , 教 科 書 お よ び 補 助 教 材									
関連科目									
教科書		「現代社会」間宮陽介ほか編(東京書籍)							
補助教材等		「標準高等地図」 帝国書院編集部編(帝国書院)、「地理統計 2014年版」(帝国書院)							
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合	40	40		20					100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		◎					
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】									
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									
学 習 上 の 留 意 点 お よ び 学 習 上 の 助 言									
教科書、地図、補助教材、配布のプリントを効果的に使って、現代社会の大切な側面を理解できるようにする。そのつど課されるレポートとあわせて、期限を守って提出することで、平素の学習と自学自習を評価するポイントとする。なお、教科書については、より詳しく説明する必要のある箇所はとくに重点的に解説する。重要な概念、キーワードをよく理解するよう心がけることが大切である。単に暗記科目というのではない。問題になっている事柄の本質的な核心をつかんでいくことが求められる。現代社会で取り上げられる世界のあらゆる事柄に対して、貪欲な知的関心と興味を持って講義をきいてゆけば、おのずから理解は付いてくる。									

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	はじめに	現代社会の科目を学ぶ意義と講義の進め方。高専制度の特徴を知り、全国高専の所在地を地図で調べ、全国に展開する高専を理解できる。	地図帳と配布プリントの資料を使って、レポートを完成し、次回に提出する。
2	現代社会の特質	大衆社会と近代の特徴を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
3	現代社会の特質	高度情報社会とITの持つ問題点を説明できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
4	現代社会の特質	国際化社会のグローバリゼーションとは何かを理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
5	現代社会における青年	青年期と自我の発達の問題を通して、心理学の基本的知識を学んで知ることができる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
6	現代社会における青年	アイデンティティと自立の課題を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
7	現代社会における青年	フロイトとユング心理学の概要を把握できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲の予習をしておく。
8	中 間 試 験		
9	試験返却と解答解説 教と人間	宗 試験解説により、間違った箇所を理解する。 東アジア世界に展開した仏教の基本思想について説明できる。	次回の範囲の予習をしておく。
10	宗教と人間	西アジアに起こったイスラム教の基本思想について理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習と次回の範囲の予習をしておく。
11	宗教と人間	ヨーロッパに変革をもたらしたキリスト教の基本的思想について正しい説明をすることができる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習と次回の範囲の予習をしておく。
12	共に生きる社会をめざして	人口問題と少子化の問題点を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習と次回の範囲の予習をしておく。
13	共に生きる社会をめざして	都市化の問題がもたらす問題点を知ることができる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習と次回の範囲の予習をしておく。
14	共に生きる社会をめざして	高齢化社会と福祉(介護、医療、年金)がかかえる問題を把握できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習と次回の範囲の予習をしておく。
	期 末 試 験		
15	試験返却・解答解説 まとめ	試験解説により、間違った箇所を理解する。 前期の学習事項のまとめを行う。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	世界の風土と文化(1)	東アジアおよび東南アジア地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
17	世界の風土と文化(2)	西アジアおよび北アフリカ地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
18	世界の風土と文化(3)	ヨーロッパ世界および西欧地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
19	世界の風土と文化(4)	東ヨーロッパおよび旧ソ連地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
20	世界の風土と文化(5)	アングロアメリカ地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
21	世界の風土と文化(6)	ラテンアメリカ地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
22	世界の風土と文化(7)	オセアニア地域と国々の特徴を、その地理、歴史、文化、産業の観点から総合的に理解できる。	補助教材、配布プリントを使って基本事項を確認し、次回にレポートを提出する。
23	中 間 試 験		
24	試験返却・解答解説 環境と私たちの未来	試験解説により、間違った箇所を理解する。 環境の問題の核心と温暖化・オゾン層・酸性雨の問題点を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
25	地球環境と資源・エネルギー	砂漠化・熱帯林の荒廃・野生種の減少の問題点を説明できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
26	地球環境と資源・エネルギー	環境問題への国際的取り組みと生態系のシステムについて、知り学ぶことができる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
27	地球環境と資源・エネルギー	資源・エネルギー問題の課題について理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
28	地球環境と資源・エネルギー	日本が直面する資源・エネルギー諸問題を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
29	科学技術の発達と生命	現代テクノロジーの発達と医療の最前線について、基本的知識を理解できる。	教科書の該当箇所とノートを見て復習し、次回の範囲を予習しておく。
	期 末 試 験		
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業評価アンケート実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。 後期の学習事項のまとめを行う。	
総授業時間数			60 時間